デビュー20周年
×
ザ・シンフォニーホール開館40周年

Robert Alexander Schumann

Franz Liszt

Modest Petrovich Mussorgsky

上原彩子
プレミアム・リサイタル

シューマン：
幻想小曲集 op.12
夕べに／飛翔／なぜ／気まぐれ／夜に
寓話／夢のもつれ／歌の終わり

リスト：
ピアノ・ソナタ ロ短調 S. 178 / R. 21

ムソルグスキー：
組曲「展覧会の絵」

2022 8.7（日）
14:00開演（13:00開場）

5,000円（全席指定／税込）

ザ・シンフォニーホール
主催：ザ・シンフォニーホール

（ご予約・お問合せ）ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp

プレイガイド
■ e+（イープラス） https://eplus.jp/symphonyhall（パソコン・携帯） ■ ローソンチケット https://l-tike.com/symphonyhall［Lコード：55859］
■ チケットぴあ https://w.pia.jp/t/symphonyhall/［Pコード：207-150］

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
※やむを得ない事情により、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

AYAKO UEHARA

デビュー20周年 × ザ・シンフォニーホール 開館40周年

上原彩子 プレミアム・リサイタル

2022年は、ザ・シンフォニーホール開館40周年。その記念すべき年に、デビュー20周年を迎えるピアニストの上原彩子がリサイタルを行なう。

第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門で日本人として、そして女性として初めて優勝の栄冠に輝いた上原。歳月を積み重ねていくごとに、その類い稀な音楽性はさらに輝きを増し、安定した技巧と大胆な感情表出は他の追随を許さない。ザ・シンフォニーホールでは、毎年ピアノ協奏曲を演奏し、その燃え立つようなパッションで聴衆を虜にしてきた。

今回のリサイタルでは、まず、「実はシューマン大好き！」という上原が選曲した《幻想小曲集》作品12。シューマンの夢幻の広がりが作品の一つひとつに凝縮されている。そのシューマンに捧げられたドラマティックなリスト《ピアノ・ソナタ》、そして10枚の絵画とそれを結びつけるプロムナードによる《展覧会の絵》。上原ならではの、豊饒な音の色彩と壮大なスケール感を堪能できることだろう。

上原がこよなく愛するロマン派の幻想的な作品と、得意のロシア音楽によるプログラム。彼女の究極のピアニズムが聴けるに違いない。

文　道下京子

Message

ザ・シンフォニーホールでは、今までたくさんのコンチェルトを弾かせていただいてきましたが、リサイタルは久しぶりになります。

今回のプログラムは、ザ・シンフォニーホールの様な広い空間ならではのゴージャスな響きを存分に味わっていただきたい、そんなコンセプトで選んでみました。

ピアノという楽器には、様々な顔があり、その一つとして、一人で一台で、オーケストラの様な響きを作り出せるという特徴があります。リストのソナタや展覧会の絵は、正にそれを体感していただけると思います。そして、その前に私の大好きなシューマンで皆様と親密な関係になることができたらとても嬉しいです。8月、ザ・シンフォニーホールでお待ちしています。

上原彩子

上原彩子［ピアノ］Ayako Uehara

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに日本国内はもとより世界各地の音楽祭への出演やリサイタルなどの他、ヤノフスキ、ノセダ、ルイージ、ラザレフ、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。

2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ 13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー」がリリースされている。東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。

公式ホームページ：https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA